

目標達成計画

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	2 3 4	多くの利用者様家族、地域の方々との直接の関わりや意見の集約がコロナ禍以降も十分に行えなかった。	運営推進会議の円滑で闊達な開催。	コロナ禍以降も感染症の懸念から以前のような対面開催になかなか戻れずにいたが、会議の内容も工夫し多くの構成員に参加していただける会議内容を検討し実施していきたい。	随時
2	34	緊急時の初期対応について職員の能力にバラつきがある。	経験の浅いスタッフも経験を有するスタッフ同様瞬時に的確に動ける体制をつくる。	定期的に職員会議の場においてマニュアルの確認や対象利用者様個々の対応についてのシミュレーションを行い慌てずに行動できる体制を整える。	1年間
3	8	権利擁護について勉強する機会は増えているが、職員全体に浸透されていない。	職員全員が同等の知識を得てそれらを活用できるようになる。	専門書や研修会等で積極的に学ぶ機会を設け、各々が知識を身につけ学んだことを職員会議等の場で発表することで自分のものとしていく。	1年間
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。